

●暑い夏にぴったりな水遊び場



市内4つの公園にある水遊び場。8月23日(日)までは毎日利用できます。  
**利用時間**=10時~16時(こども公園ミストは9時~16時)

水遊び場のある公園

- ・ 楽歩道前橋公園(親水エリア) じゃぶじゃぶ池
- ・ 敷島公園じゃぶじゃぶ池
- ・ 日本キャンパック大室公園じゃぶじゃぶ池
- ・ こども公園ミスト

●るなばあくで迷路に挑戦

6月にオープンした立体迷路「とことこ迷城」。3つのコースがあります。頭を使いながら進んでいく、大人でも楽しめるコースも。ゴールまでの所要時間は約20分で、1コース200円です。



※るなばあくでは土日曜・祝日など混雑が予想される日は、利用人数や時間を制限しています。(7月末日現在)

注目の公園トピックス

●遊具で健康づくり

ストレッチや軽い運動など、体を鍛えることや健康づくりを目的とした健康遊具。前橋総合運動公園や足軽茂木公園、膳城跡公園などに多く設置していますが、身近な公園で設置しているところもあります。使用方法や注意事項を確認して利用してください。



●嶺公園に新しい複合遊具が完成

嶺公園の複合遊具がリニューアル。幼児用(3歳~6歳用)と児童用(6歳~12歳用)があります。レールウェイ(一周できるターザンロープ)など、市内で嶺公園にしかないオリジナル遊具が楽しめます。



新しいマナーを守って利用を

新しい生活様式の中での公園利用は、次のことに注意をしてください。①人の多いベンチや遊具、広場を利用しない②いつもより短めに。独占しない③午前中や夕方のすいている時間に利用する④人と人の距離を2m確保し、遊具の順番待ちでも人との間隔を空ける。

また、マスクを着用しながらの利用は体に負担がかかる場合があります。普段より運動負荷を軽くする、小まめに水分補給をする、適宜休憩するなど熱中症予防を心掛けましょう。人と十分な距離が保てる場合はマスクを外し、休憩をしてください。

公園緑地課  
027・898・6842

**まちを緑にする会は市民全員が会員です**  
 行政と市民が共に水と緑の潤った潤いと安らぎのあるまちづくりを進めるために昭和46年に発足した、まちを緑にする会。これは市民全員が会員となっている市民運動組織です。自治会をとおして各世帯から集めた年間15円の会費を元に、人生の節目に贈られる人生記念樹のプレゼントや市民が参加する緑と花の講習会、市内の花壇などの維持管理をしている団体に助成。また、まちや公園などを花や緑でいっぱいにする取り組みも行っています。そのほかにも、公園を管理する公園緑地愛護会の講習会への助成などを行い、公園を維持するための活動にも役立てられています。

公園は市民全員の財産です  
 みんなで守る緑豊かな公園

園 公園管理事務所 ☎027-225-2116



公園は、市民の大切な共有財産です。自由に気持ちよく利用するためには、定期的な管理と一人一人がマナーを守り利用することが必要です。  
**公園の管理は住民の協力で**  
 本市では、多くの公園の管理を、地域住民で組織する公園緑地愛護会が担っています。市内に377団体がある同愛護会では、公園内の清掃や除草、低木類の剪定などを実施。地域公園が長く住民に愛される場所となるためには、同愛護会の活動が必要不可欠です。

例えば関根公園では……



草木の成長が早い夏場はすぐに大きなごみ袋がいっぱいに



公園内の花壇に季節ごとの花を植えたり、樹木の剪定などの管理をしています

interview

関根公園は、約100m四方の広さがある公園。樹木が多いため、草刈りや落ち葉の掃除を頻繁に行っています。関根公園愛護会では自治会の役員のほか、公園利用者や関根町三丁目の住民なども構成員として活動。冬場を除き、年間をとおして活動をしています。除草は薬剤を使わないので子どもたちも安心して遊ぶことができます。

以前は今ほど整備された公園ではありませんでしたが、遊具を設置し、きれいに管理をするようになってからは、子どもたちなど多くの人が集まる場所となりました。公園をきれいな状態に保つことは防犯の観点からも重要なことです。利用者には引き続きルールやマナーを守って利用をお願いしたいと思います。



市公園緑地愛護会連合会 関根公園愛護会 会長 生方 盛夫さん